

式亭小三馬作



龍王太郎十一編

松林堂梓

外題

~ 13
3698
6





暇あらしの書舖の需ふ十編を頼も翁上手ふるり過る英雄人を

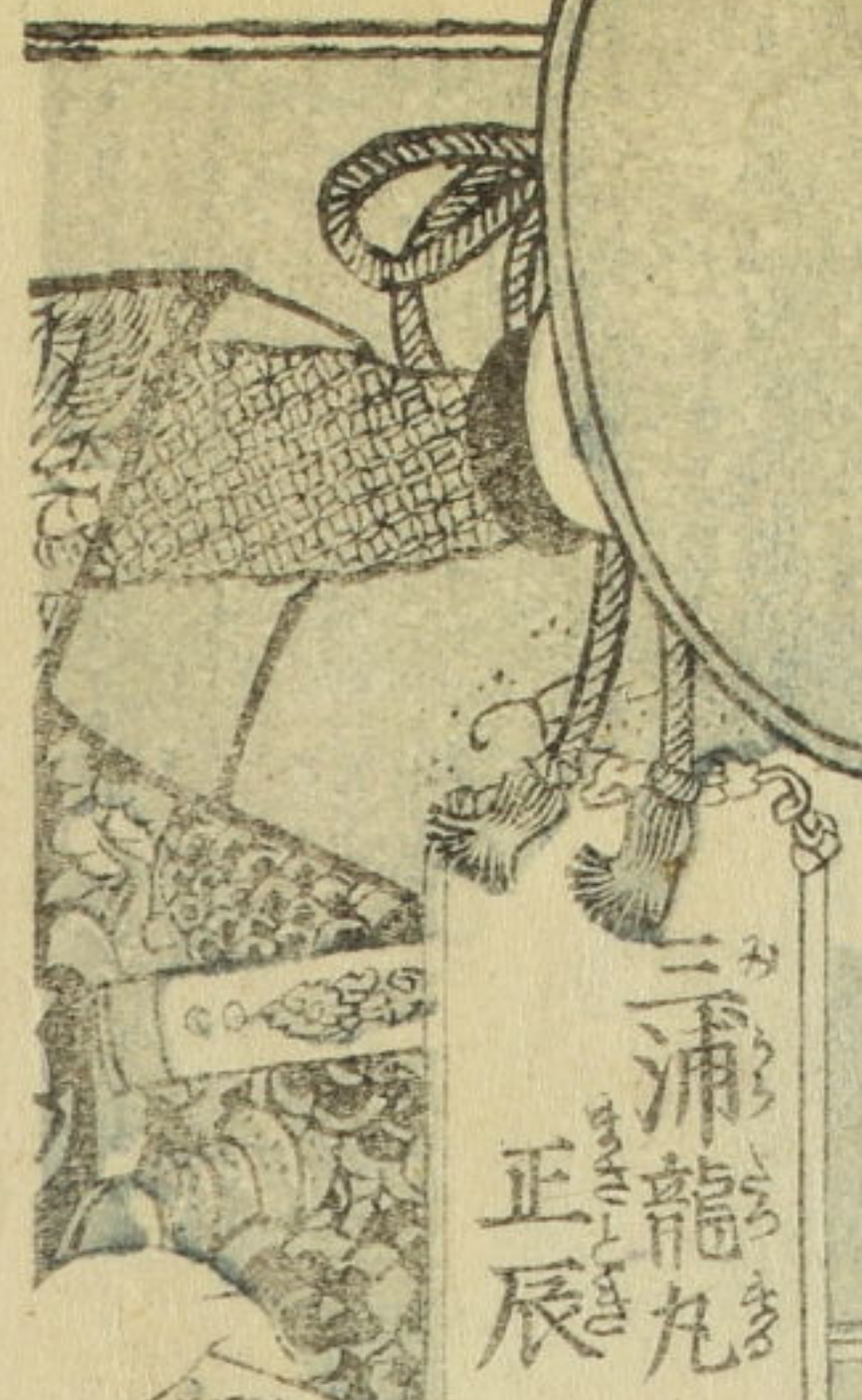
龍王太郎 英雄譚 編十

三韓を征する神功皇后上代后の英雄を。胡地誕れて聖徳兼備康熙帝末世帝王の英雄あり。孟子朱子の儒家の英雄一休禪師佛者の英雄南宋の岳飛宋末の文天祥如き。國難を及んで身と惜み又那忠臣の英雄多く。君王のため謀略を運ぶ。主家のため。必む芭蕉と想ふ。梅青の俳家の英雄。茶と久々必む千家の茶道の雄なり。末世に至りて神の尊崇。清正公の本朝勇。每小帝の尊信の。関羽と漢土義士の雄なり。湖上の李。公翁の和漢作者一雙の英文士。唐の呉道子。五朝。翁の金剛の重宝の。西雄子の。餘諸道の英雄。技拳の違あらむ。不肖を。因。

13
3698
6
卷

龍王太郎 英雄譚 編十

小三馬作 國輝画 上之卷



三浦龍丸 正辰

陸奥國信夫の 里の小三狐 龍丸公英武 能雄狐の 雙を報ふ 只願 恩と想ふ雲狐より

后入りて 龍王太郎

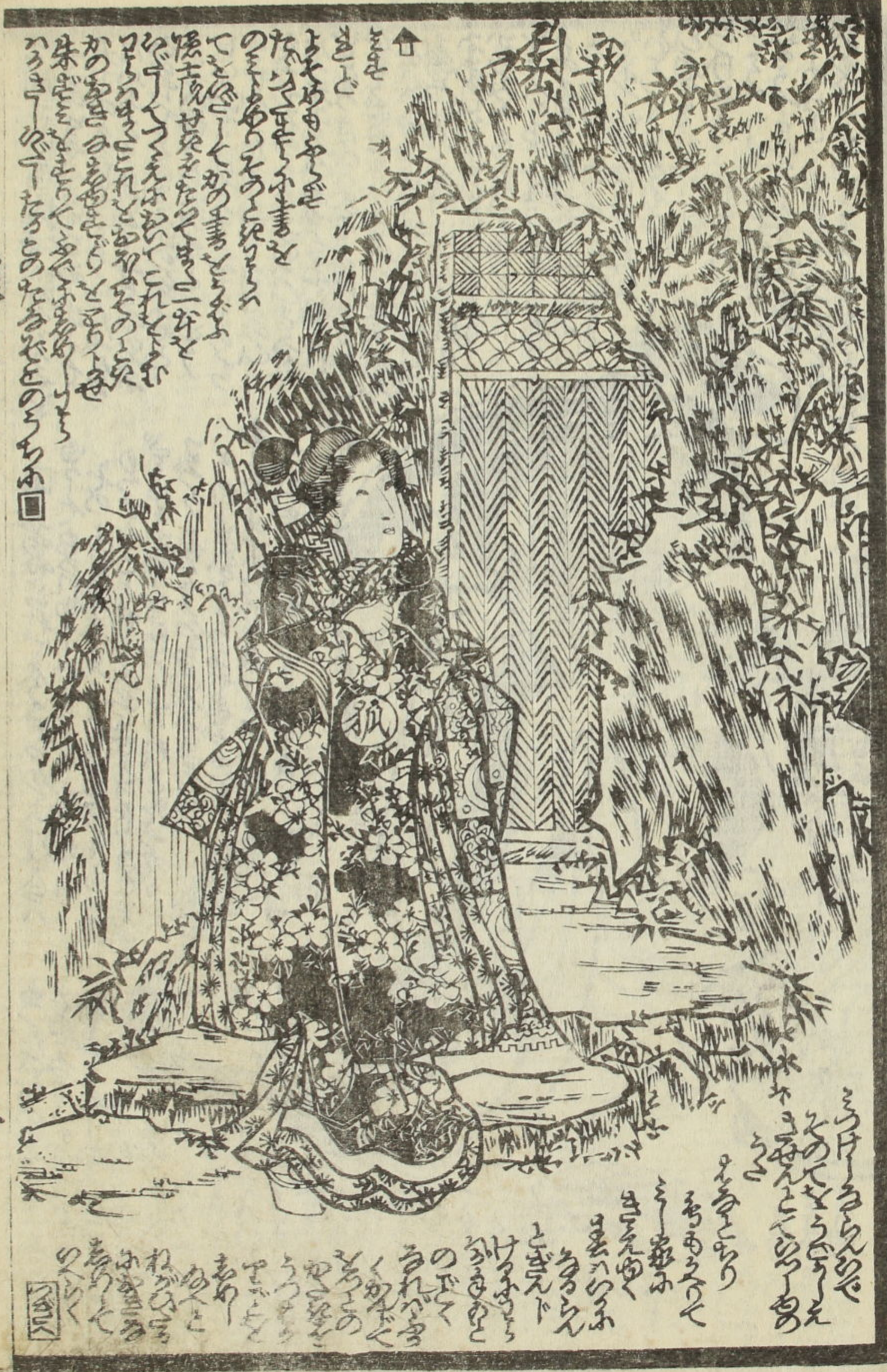
嘉永六年癸丑蕩新彫 藤岡屋慶次郎梓





嘉永六年癸丑新版
 式亭小三馬戲題

わざむらぬ世小大錦小意匠を委ねて合巻さるけり戲十六若手にあ
 りて自随意唯口画のこ画けり所謂招牌で高評をこる喝采うち
 隠居株の万代を經ん龜戸の庵老てまましく杜の優長を愛弟る
 癖強分の十二編より十二編まで續とりの作者の酒
 本町二代の是も醉勇江戸のり製法の間

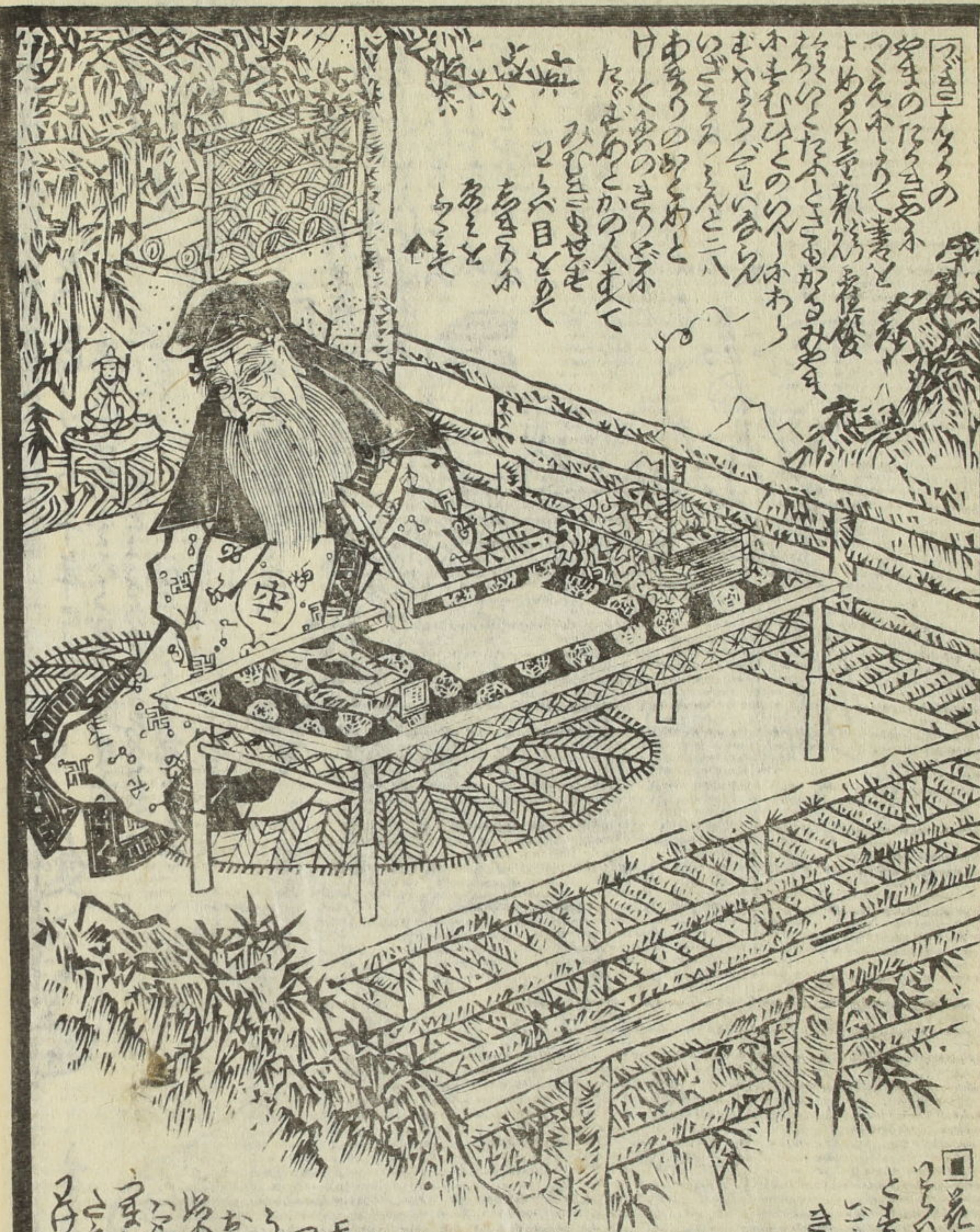


ついでに
 よきめもやせ
 たつておまかせ
 のまゆりそのまゆり
 てまゆりそのまゆり
 候王様をたてまつり
 ひやくすまふめてこれ
 つしんまこれこれ
 かのまゆり
 朱のまゆり

ついでに
 よきめもやせ
 たつておまかせ
 のまゆりそのまゆり
 てまゆりそのまゆり
 候王様をたてまつり
 ひやくすまふめてこれ
 つしんまこれこれ
 かのまゆり
 朱のまゆり

ついでに
 よきめもやせ
 たつておまかせ
 のまゆりそのまゆり
 てまゆりそのまゆり
 候王様をたてまつり
 ひやくすまふめてこれ
 つしんまこれこれ
 かのまゆり
 朱のまゆり

ついでに



ついでに
 よきめもやせ
 たつておまかせ
 のまゆりそのまゆり
 てまゆりそのまゆり
 候王様をたてまつり
 ひやくすまふめてこれ
 つしんまこれこれ
 かのまゆり
 朱のまゆり

ついでに
 よきめもやせ
 たつておまかせ
 のまゆりそのまゆり
 てまゆりそのまゆり
 候王様をたてまつり
 ひやくすまふめてこれ
 つしんまこれこれ
 かのまゆり
 朱のまゆり

ついでに

〇式守家製菜品は披露
 月水木順に治生名方 天女丸
 〇酒の旨まよふればなほ
 〇酒の旨まよふればなほ



〇酒の旨まよふればなほ
 〇酒の旨まよふればなほ
 〇酒の旨まよふればなほ

〇酒の旨まよふればなほ
 〇酒の旨まよふればなほ
 〇酒の旨まよふればなほ

〇酒の旨まよふればなほ
 〇酒の旨まよふればなほ
 〇酒の旨まよふればなほ



一雄齋國輝画

國細補



下



ついでに... 母も... 父も... 海... 五里... 名... 母...



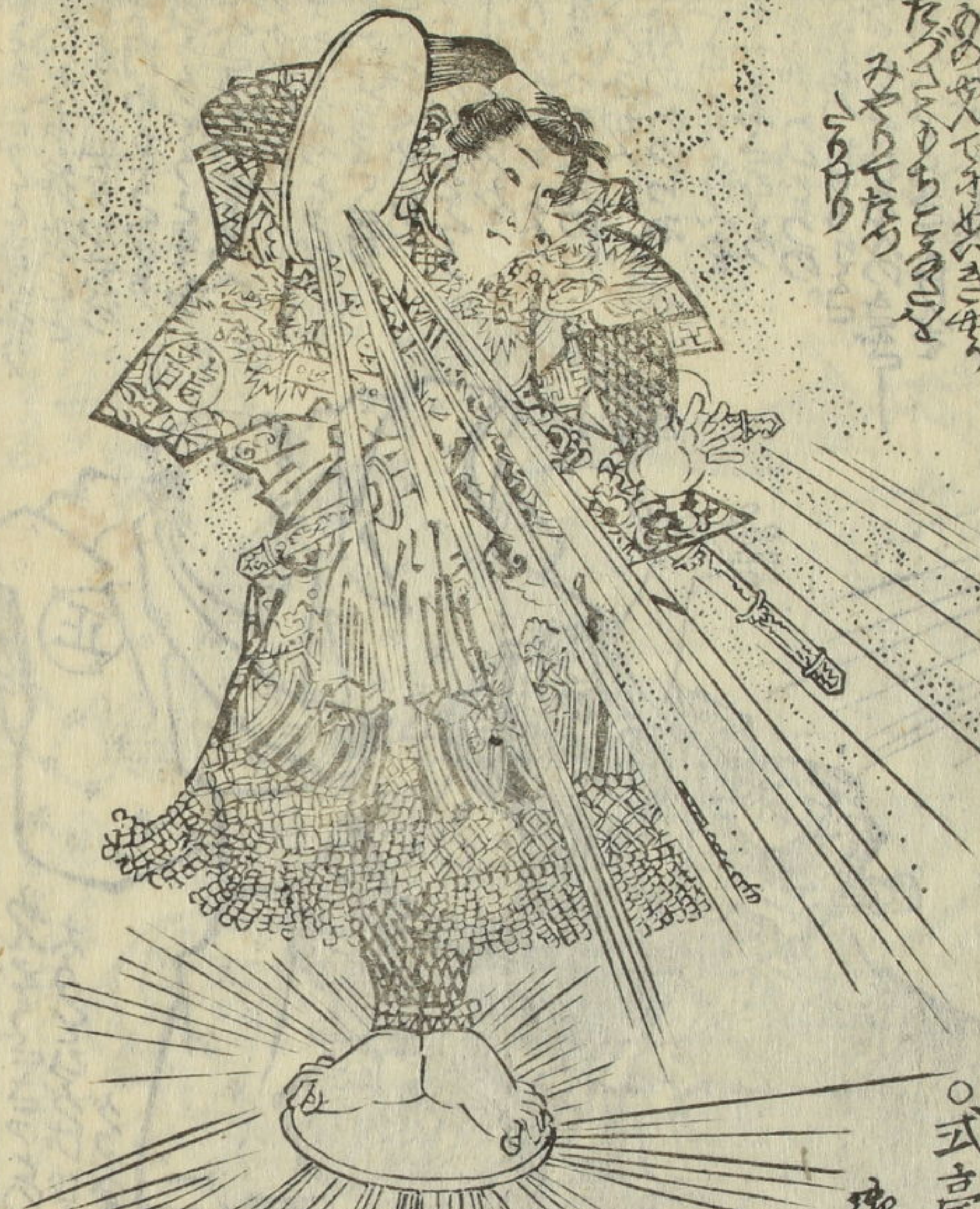
大正... 母...

母...

入か... 母... 父... 母... 母... 母...



國輝画小三馬作



この内からきくうてあまのついで
あまのついできくうてあまのついで
さまのついできくうてあまのついで
さまのついできくうてあまのついで
さまのついできくうてあまのついで
さまのついできくうてあまのついで
さまのついできくうてあまのついで
さまのついできくうてあまのついで

式亭正店例の内扱

蘭奢袋 金百疋

雪の友 金百疋

花の友 金百疋

伊吹山 御蒸艾 八十二文

九年晒 御蒸艾 八十二文

箱入 辛交 千丁八甲文

五百丁 八千文

けん入 樂代 百文 五十文

世小まれ 名方用 五十文

松林堂書物畧目錄

慶玉庭訓往來

慶玉百人一首

手紙 文章

同 古粘揃

錦壽百人一首

文海用文章

同 商賣往來

雛形百人一首

一筆 案文

御百性往來

女用文姫鑑

曆日 講叙

古粘揃余師

心學圖會

和漢年代記

草 筆画譜

同 迷子札

淨世画 手本

同 二編

野馬臺余師

畧畫画 手本

同 三編

二千年袖鑑

心學道哥百首

東海道風景圖會

古銭 及び

女大學宝文庫

東都通油町

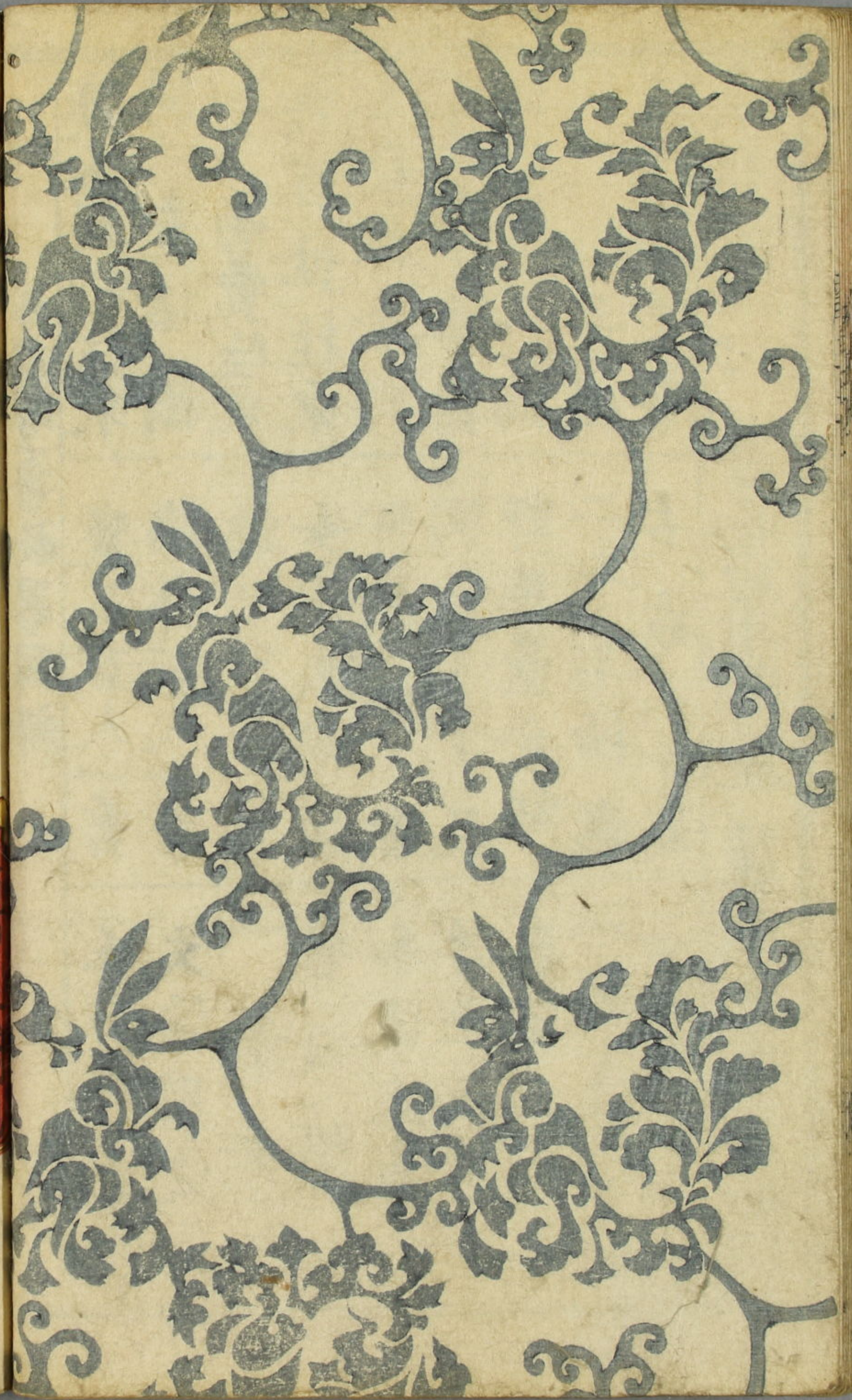
書物地本問屋

藤園屋慶治郎

樂亭西馬作



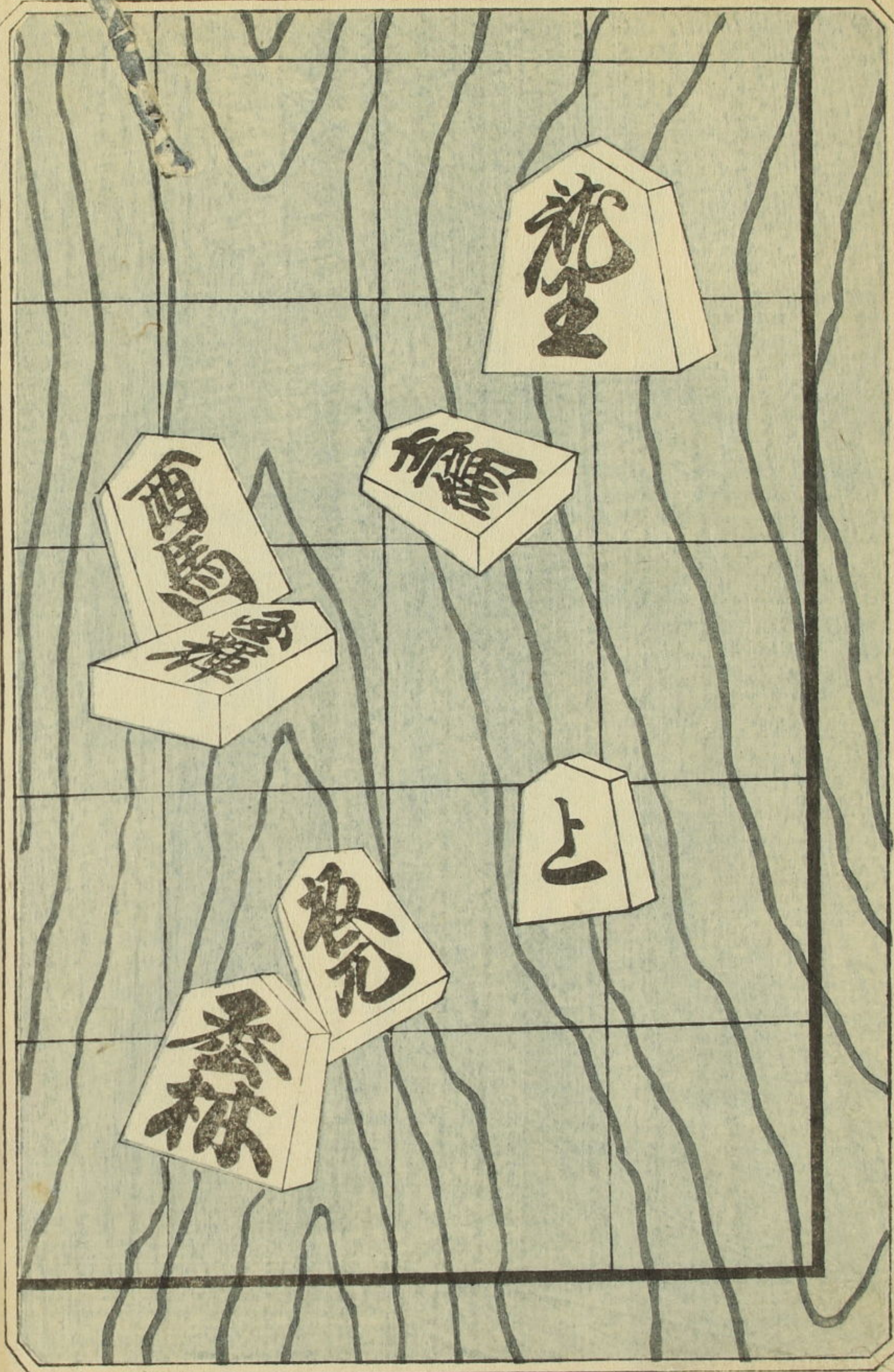
作題曲多國邊



龍王太郎英勇譚と題せる本町菴小三馬主人の著られて既み土編迄發行せり然るに
 者碍るまのありて尚後を稿せし書買松林堂僕曰く此龍王草紙幸ひ
 編上集より綴具と實早春年始序只管の需也外標の看板見らたれを何等と
 つらむや戯場の出管の狂言視船店の舟道遙せざるごとく作者の末座小連は毎歳
 數彫の新板一枚もあけて見むふれがあやう中うけん自らやたら小見と夢は
 まるぬその管朝飯まの肴經もやと半々俗用の使ふせがまれば夫ありまじ草稿の
 まれ筋も時代もあつた不著無規其双紙因てこれ龍九といふ色前髪竜女の守護
 飛行自在なれ小随徒七勇士國賊邪道を退治する本文ありと見れば作者の私欲引
 味ありその上巻毎出像より先姫君が五七人旧家の荒廢いつも重り追々編ひらげ
 下帳の未だ竜九が良を出さぬの外題名目次第のれと斯種々趣向と時々満尾のつまる
 魚なる物とやといふる工を苦心してまう七勇士のそのを揃へ道人異仙の幼儀も余りま
 らく是より暫くを止らして別趣の中う小書出せと云うころや龍王の大概えぬやう
 説案跡を接補の梅の赤本又新王の早陽み其糸を撰みらん

嘉永八歳乙卯正月新鑄

樂亭西馬題





倉積貢
姉娘
早苗

山路右内が愛女阿高



月
花
の山
鬼貫

安倍通長
息女
此花姫

花岡
三芳之助
馴妻
島原
華山
太夫
管領
山名姫
待霄

大江
奥方
富之前
一子
道若丸

刀鍛冶正武
乙娘阿邑





あまの
足利
大樹
義熙
公
梅
乃
花
竹
角
記

隠士
壘海
金山
求馬



綿
鎬
民
部
省
一
子
格
九
速
友

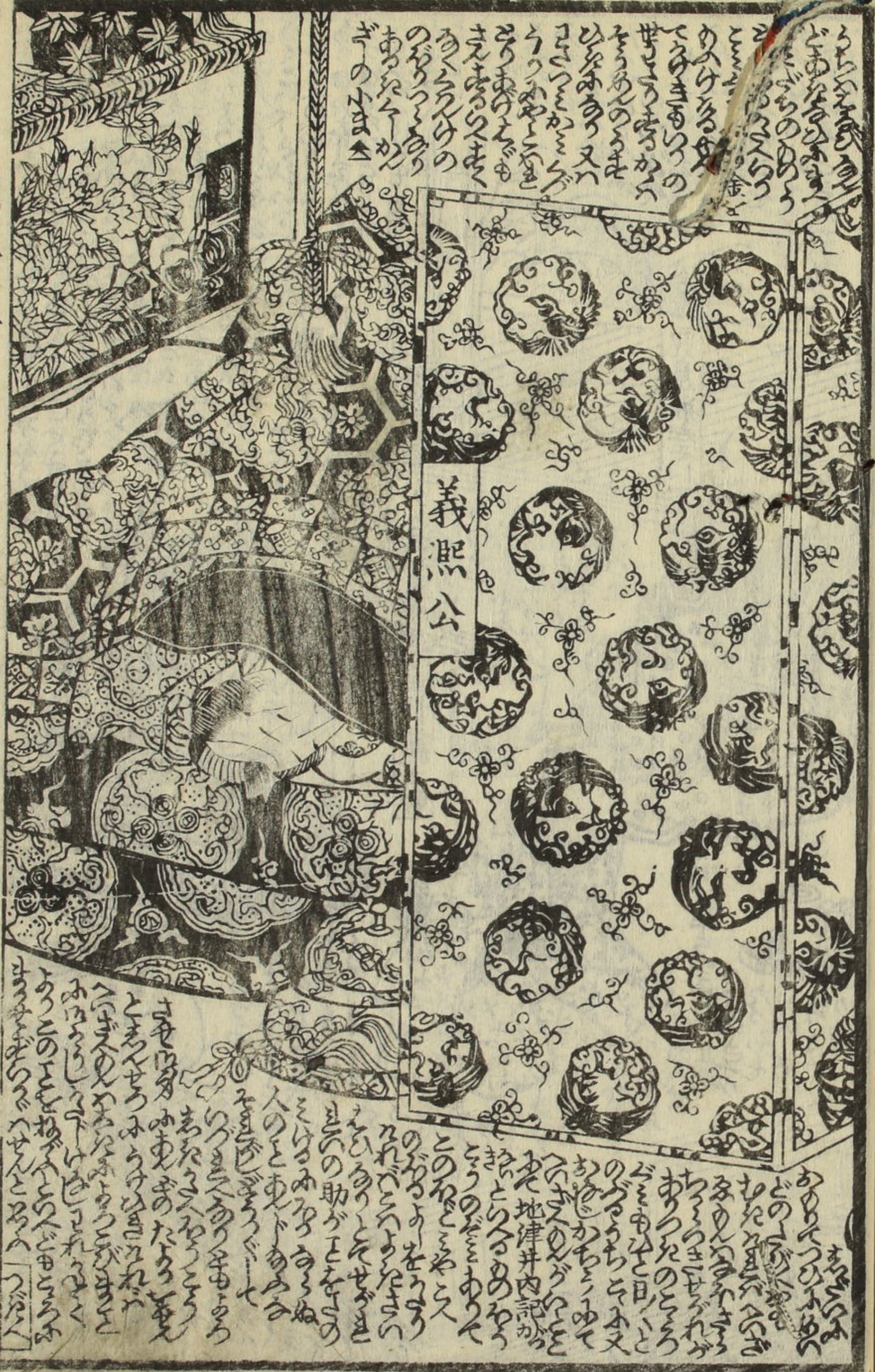
彈正



兵庫亮

格九

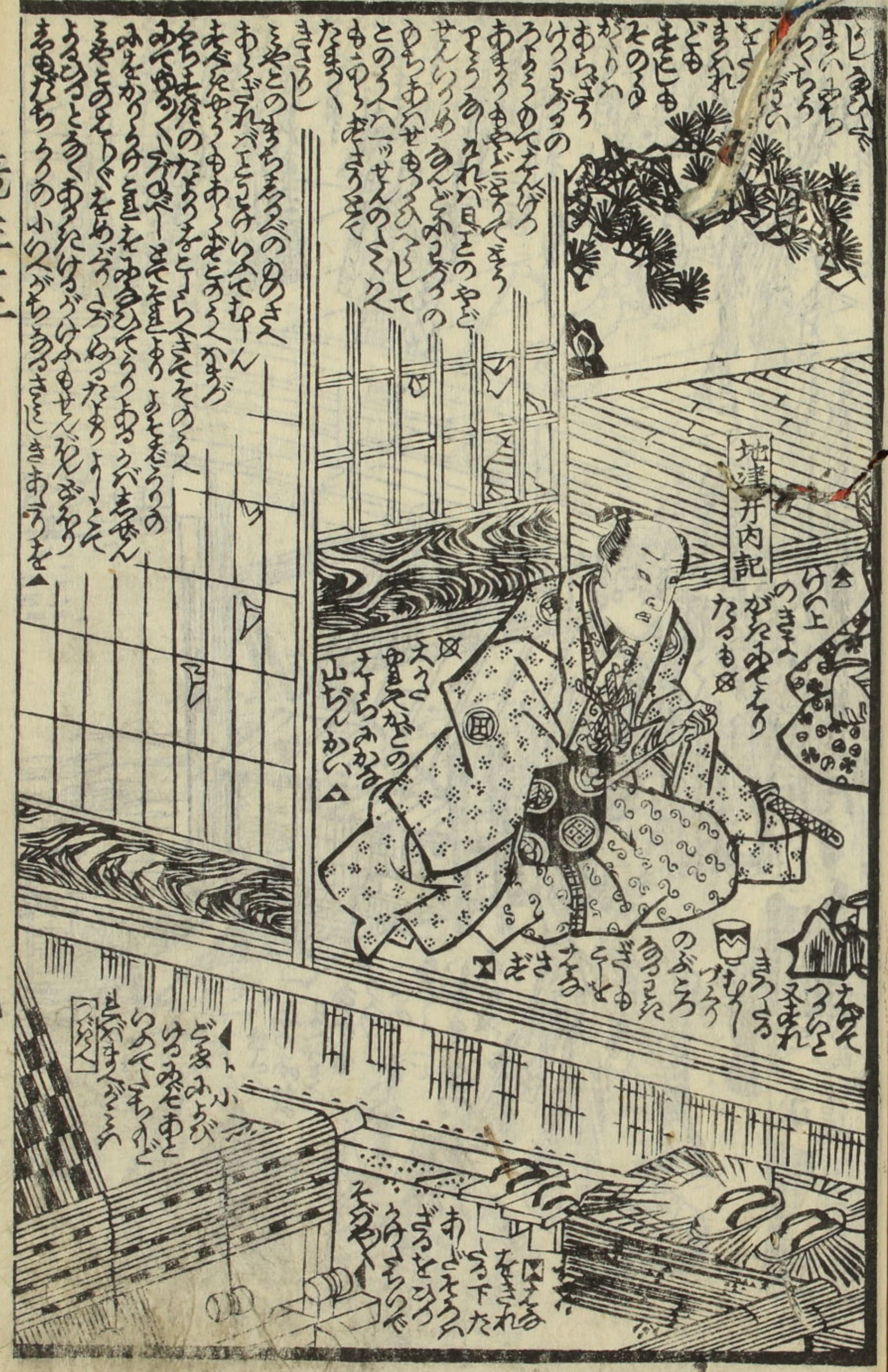
義熙公





此の物語は...
 児島雅三...
 悴麗之助...
 此の物語は...

此の物語は...
 悴麗之助...
 此の物語は...



此の物語は...
 地津井内記...
 此の物語は...

此の物語は...
 地津井内記...
 此の物語は...

小三馬
前案
西馬次編
國輝画



龍王太郎英雄譚

十二編 樂亭西馬作
十三編
十四編 歌川國輝画

浮牡丹全傳

初編 柳下亭種員作
二編 一壽齋國貞画

敵討九里石伊賀越

初編 英壽作
五編 國輝画

繪本川中島軍鑑

六編 玉蘭齋作
十編 貞秀画

地本錦繪問屋通油町藤岡屋慶次郎板

歌川國輝畫

松林堂梓



龍王太郎拾編





金山塵海

求馬

瓶左門



王右郎

英雄譚

第十二編下冊

樂多西馬化

一旗高國輝画

藤岡屋

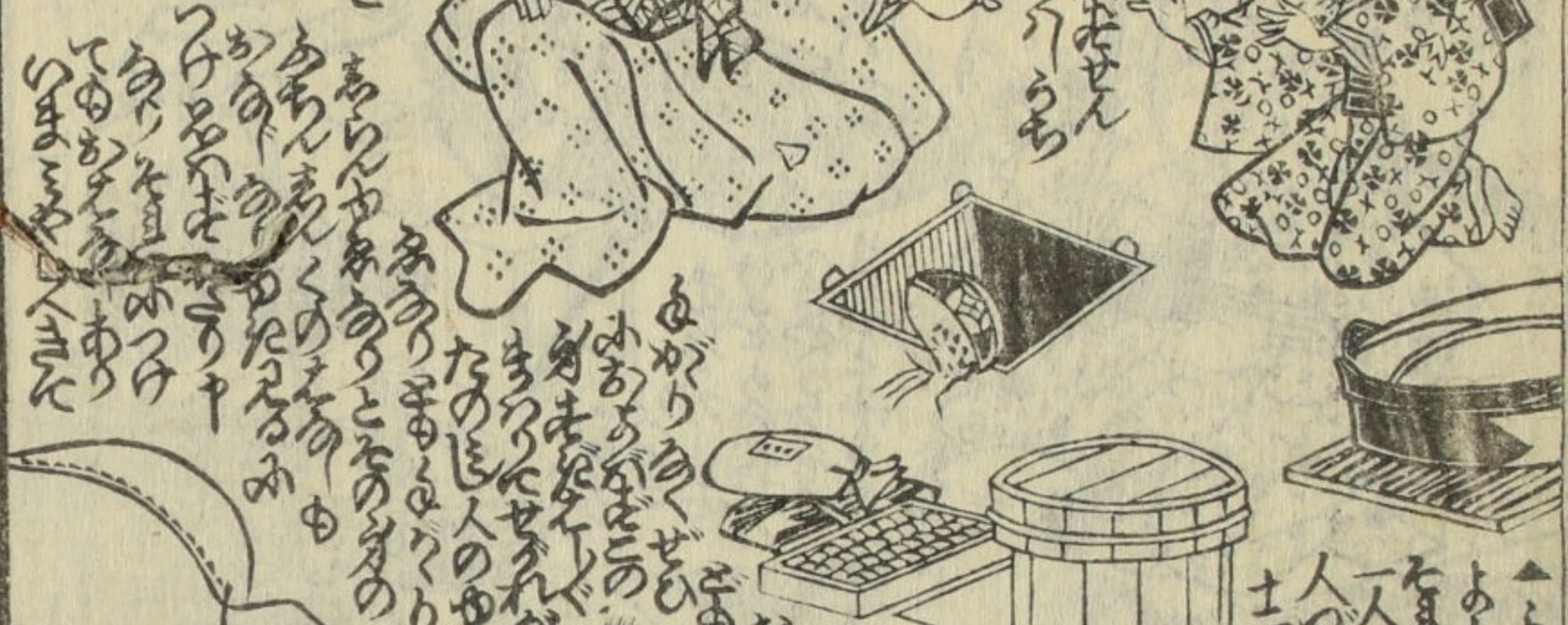
壽梓

赤糸
乙郊春

求馬

つぎに... 求馬... 死に... 命を... 命を... 命を...

塵海



あつた... 塵海... 命を... 命を... 命を...

瓶左門



あつた... 瓶左門... 命を... 命を... 命を...

中... 塵海... 命を... 命を... 命を...

塵海



あつた... 塵海... 命を... 命を... 命を...

求馬



あつた... 求馬... 命を... 命を... 命を...



塵海

金山寓居

末馬

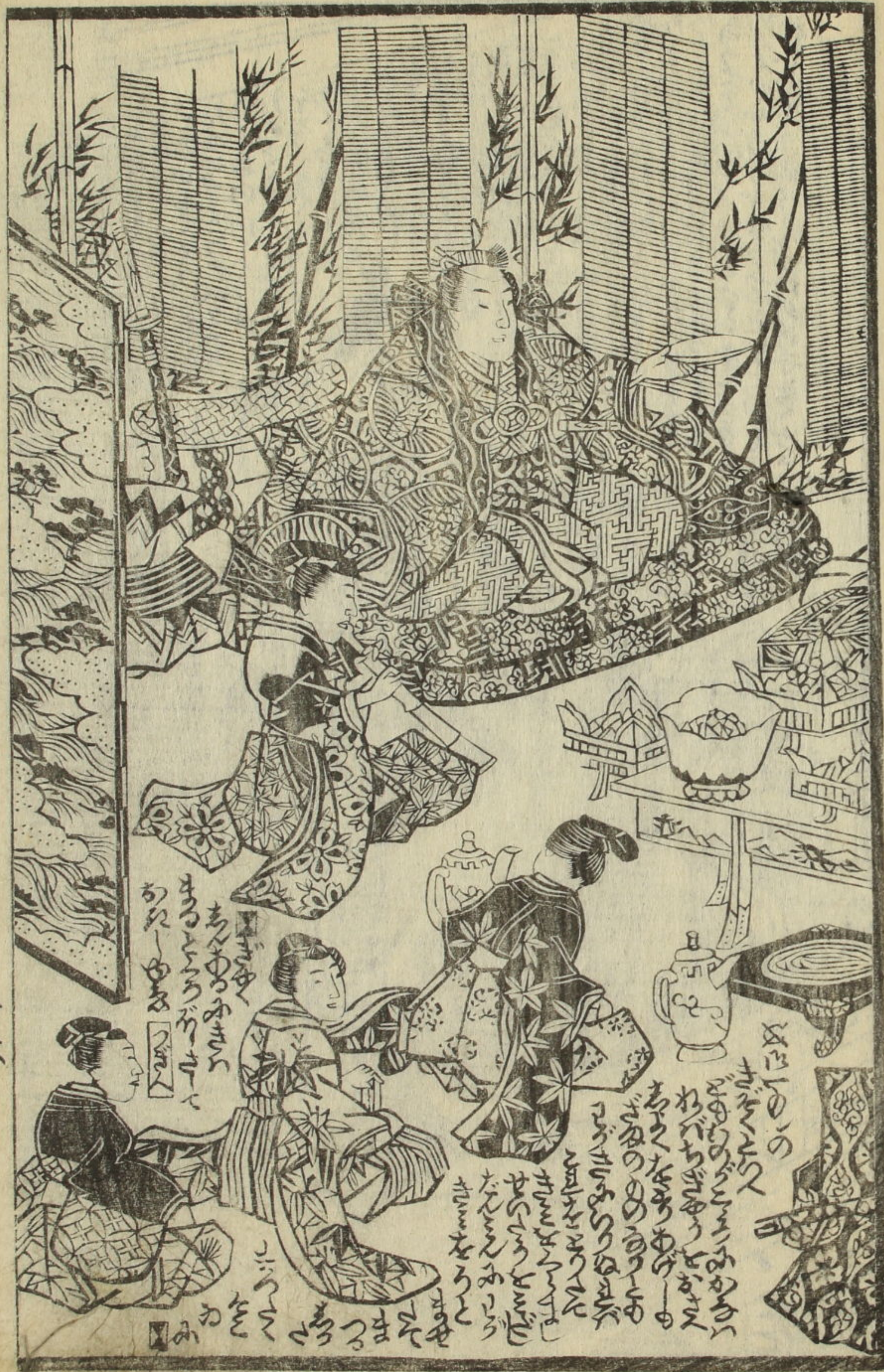


海左門

公由次郎

瓶左門

からいつい





義熙公
 のちうせつ
 むつせん
 りんせつ
 むねのさた
 りちさふ

麗之助
 錦弥
 求馬

むねのさた
 りちさふ
 むねのさた
 りちさふ
 むねのさた
 りちさふ



弾正
 世のついでに
 世のついでに
 世のついでに

世のついでに
 世のついでに
 世のついでに

世のついでに
 世のついでに
 世のついでに

民部速友



ついでに... 民部速友の... 民部速友の... 民部速友の...

滝尾俊秀



あつた... 滝尾俊秀の... 滝尾俊秀の... 滝尾俊秀の...

早秀



早秀の... 早秀の... 早秀の...

拾丸



拾丸の... 拾丸の... 拾丸の...

あつた... 拾丸の... 拾丸の... 拾丸の...



あつたのひいし
なるふこのをり
あつたの尾

あつたのひいし
なるふこのをり
あつたの尾

義熙公



林吾

あつたのひいし
なるふこのをり
あつたの尾

あつたのひいし
なるふこのをり
あつたの尾



あつたのひいし
なるふこのをり
あつたの尾

あつたのひいし
なるふこのをり
あつたの尾

錦弥



頭七

水馬

あつたのひいし
なるふこのをり
あつたの尾

あつたのひいし
なるふこのをり
あつたの尾

あつたのひいし
なるふこのをり
あつたの尾

嘉永八年卯孟春新鐫目錄

地本錦繪 問屋通油町 松林堂 藤岡屋慶治郎梓

風美代春風

二冊 式多小馬作 一雄齋國輝画

牡丹園女子壯子

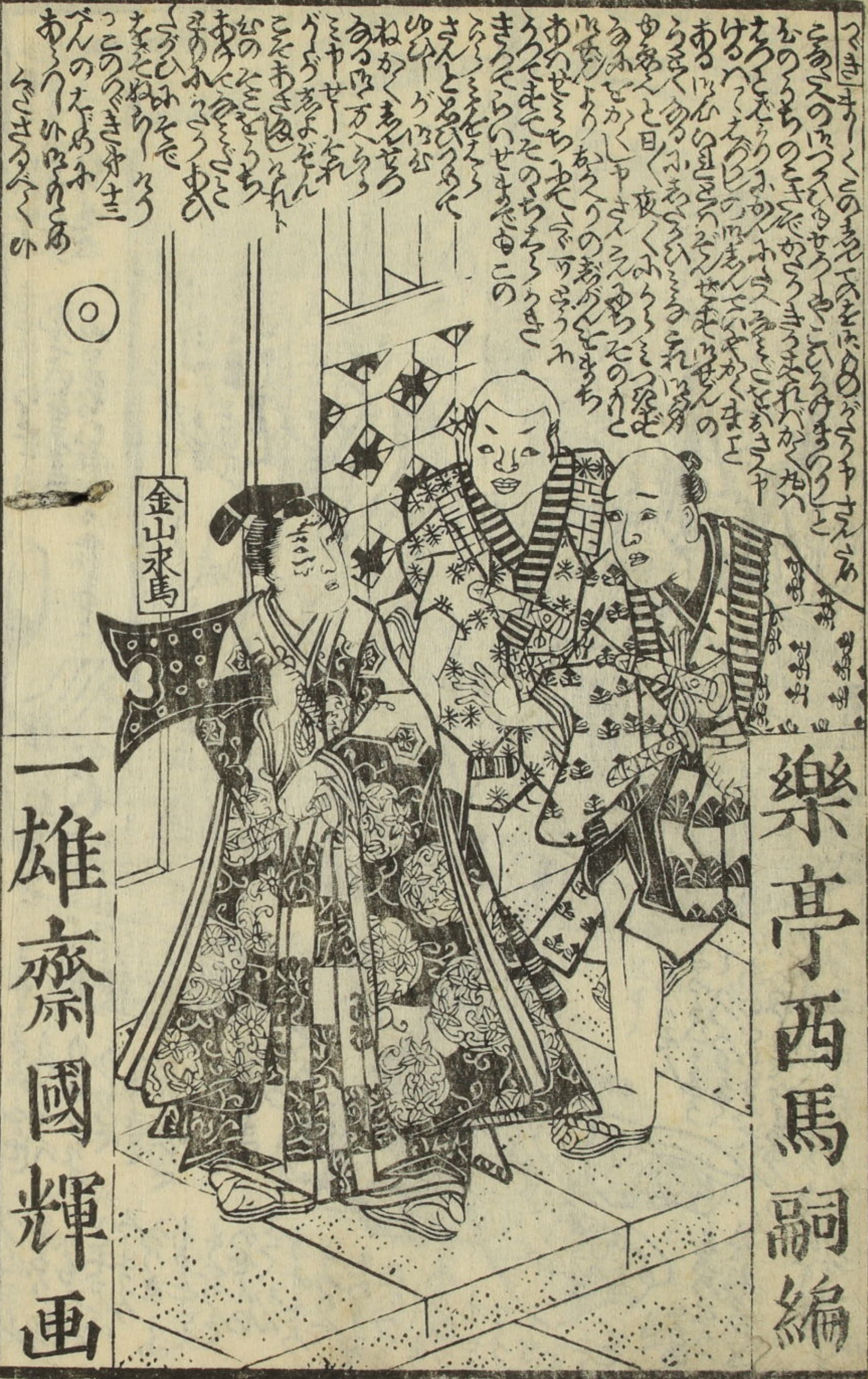
一名淀屋三代記

三編 笠亭仙果作
四編 一雄齋國輝画
五編

新撰 佛伽草

松色壽

初編 一夢菴小株撰



樂亭西馬嗣編

一雄齋國輝画

